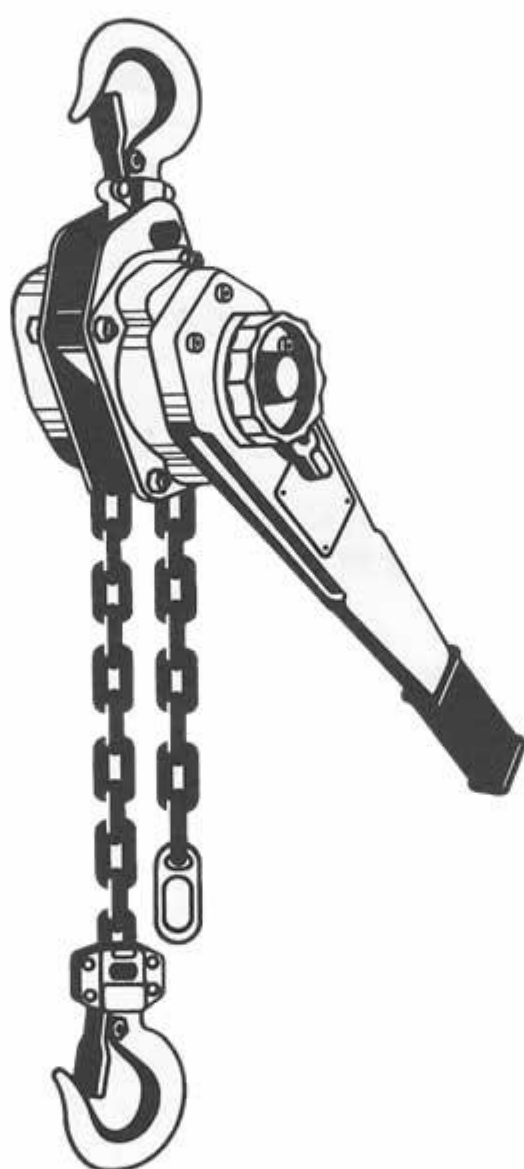
フジプーラー　8S型

取説No.8S04-02

チェーンレバーホイスト　取扱説明書

●ご使用になるお客様に必ずお渡しください。
●お客様はご使用になる前に、必ずお読みください。

このたびはフジ製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
●保守点検の際には、この取扱説明書が必要になりますので、
お読みになった後は大切に保存してください。

お客様メモ	製品の型式	8S－
後日のためにご記入してください。 お問い合わせや、部品のご用命の際 お役に立ちます。	定格荷重	
	製造番号	
	ご購入日	年　月　日

株式會社 富士製作所

安全上のご注意

フジプーラーの使い方を誤ると、つった荷物の落下などの危険な状態になります。
据え付け・取り付け、運転操作、保守点検の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報、そして注意事項の全てに習熟してからご使用ください。

この取扱説明書では、注意事項を「**危険**」、「**注意**」の２つに区分しています。

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

なお、⚠ 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 危険

- ●取扱説明書および操作銘板の内容を熟知しない人は使用しないでください。
- ●定格荷重を超える荷は、絶対にかけないでください。
- ●つり荷の下や、つり荷の動く範囲に入らないでください。また人の頭上を越えて荷を運搬しないでください。
- ●損傷を受けたり、異音がするフジプーラーを使用しないでください。
- ●ロードチェーンに次の異常があるときは絶対に使用しないでください。
  - ・ねじれ、もつれ、亀裂、かみ合い異常があるもの
  - ・規定より伸び、摩耗の大きいもの
- ●レバーにパイプなどを差し込んでの操作や、足で踏みつけるような操作は絶対にしないでください。
- ●荷締め後は必ず切換レバーの位置を巻方向にしておいてください。
- ●製品および付属品の改造は絶対しないでください。

・・・・・目次・・・・・

ご注意●この取扱説明書は、事前の予告なく一部内容を変更することがあります。

1、梱包を解いたら

フジプーラーは１台ごとに十分に調整し、試運転を行った上で出荷しておりますが、輸送中の衝撃等による損傷の可能性も皆無と言えませんので、梱包を解かれたら念のため、次の事項を点検してください。

1. ご注文の仕様のものか。（銘板を確かめてください。）
2. 輸送中の取扱いにより損傷を受けていないか。
3. 付属品の欠品、脱落がないか確認してください。
4. 各部のネジおよび止め金具等に異常はないか。

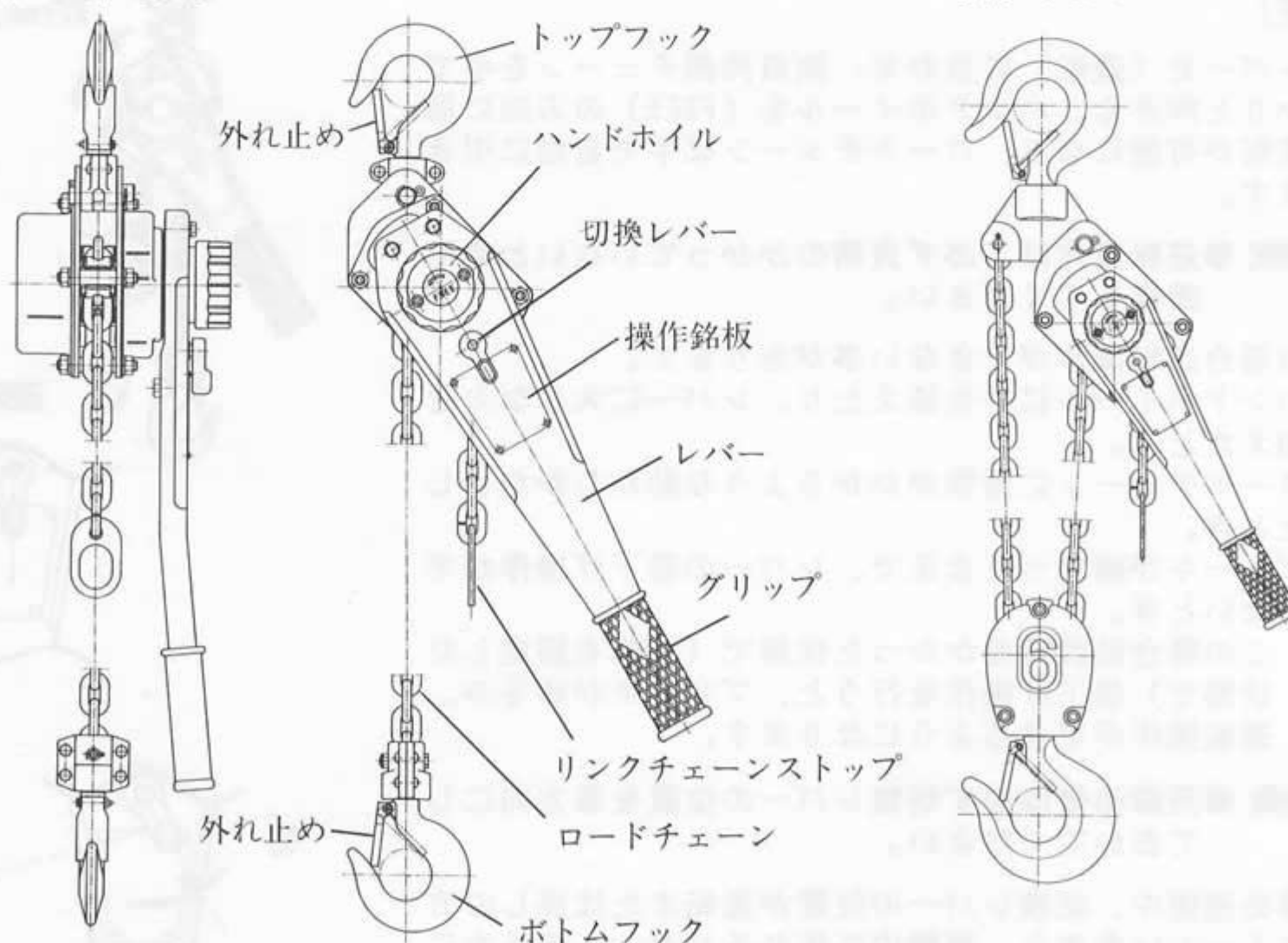
※ 本体に同梱されています付属資料は取扱説明書(検査証)、御使用者カードの２点です。

2、仕様

フジプーラー（チェーンレバーホイスト）のご使用に際し、特に法規による規制はありませんが、安全確保のために、クレーン等安全規則をご参照のうえ保守管理を実施し、また作業者の方に玉掛け技能や、クレーンの運転の教育を実施されることをお勧めします。

型　式（定格荷重）	0.8TON	1.0TON	1.6TON	3.15TON	6.3TON
標準揚程 (m)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
フック間最小距離 (mm)	314	323	379	480	606
レバー長さ (mm)	268	268	408	408	408
レバー手動力 (N)	300	370	300	380	380
※参考値重力単位系 (kgf)	30	37	30	38	38
レバー１回転の揚程 (mm)	27.1	27.1	29.0	19.8	9.9
製品質量 (kg)	6.4	6.5	10.0	17.1	28.5
使用チェーン (JIS級)	V-5.6	V-5.6	V-7.1	V-9	V-9
チェーン全長 (mm)	1683	1683	1701	1809	3672

※レバー手動力の単位は従来の重力単位系(kgf)から国際単位系(N：ﾆｭｰﾄﾝ)に変更されています。
参考値として下段に従来の重力単位系(kgf)を表示してあります。

3、外観および各部の名称

⚠注意●操作銘板をはずしたり、不鮮明なまま使用しないでください。
紛失したり、不鮮明になったときは当社にご注文のうえ貼り直してください。

4、使用環境上のご注意

⚠注意 ●次の条件でのご使用は製品の寿命を縮め、たいへん危険ですのでお避けください。
- ・−10℃以下の低温、40℃以上の高温、90%以上の高湿の場所。
- ・酸や塩分の多い場所。　・粉塵の多い場所。
- ・野ざらし状態など、直接風雨や雪のかかる場所。

特殊な環境下でご使用される場合は、事前に当社にご相談ください。
また、環境の悪い場所でのご使用は、各部の損傷が激しくなりますので頻繁に点検を行って、常に正常な状態を維持してください。

5、操作方法

①トップフックをセットし、フジプーラーを取り付けます。
6.3TONはボトムフックがロードチェーンの間をくぐってねじれている事がありますので、必ずねじれを直してください。

②遊転操作により、フックに荷をかけやすい長さまでロードチェーンを引き出します。

③ボトムフックに荷をかけます。

④切換レバーを(巻)に合わせ、ボトムフックを押さえて、ハンドホイールを時計方向に回し、ロードチェーンのたるみを取ります。
この時、ロードチェーンのねじれを取り除いてください。

⑤切換レバーを(巻)に合わせ、レバーを往復動作すると荷が巻き上げられます。

⑥切換レバーを(戻)に合わせ、レバーを往復動作すると荷が巻き下げられます。

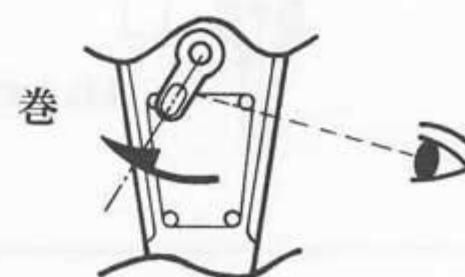
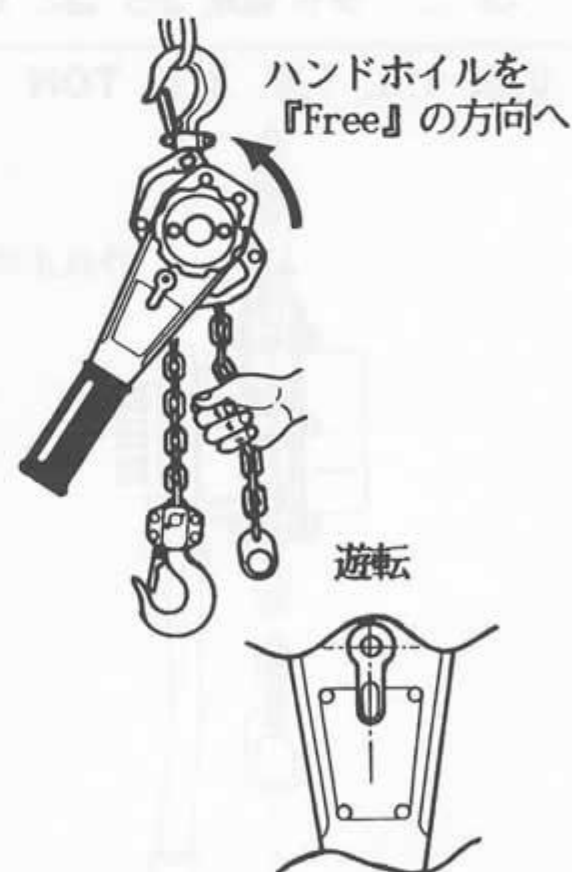
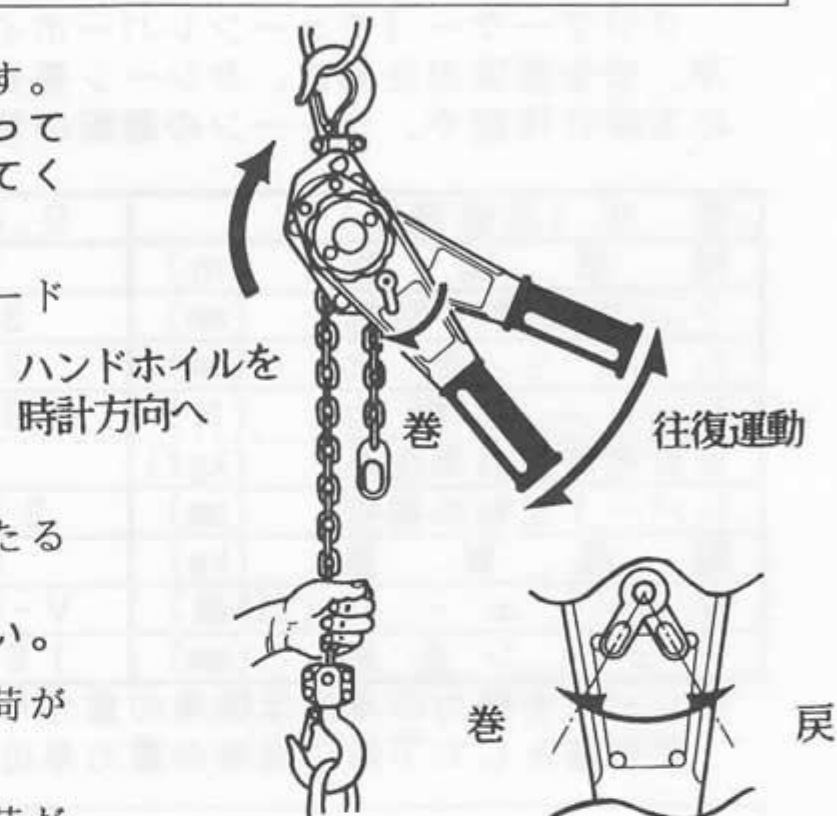
遊転操作

切換レバーを（遊転）に合わせ、無負荷側チェーンを手でしっかりと押さえ、ハンドホイールを（FREE）の方向に回すと遊転が可能になり、ロードチェーンは手で自由に引き出せます。

⚠注意 ●**遊転操作は、必ず負荷のかかっていないときに操作してください。**

※次の場合遊転操作ができない事があります。
- ・ハンドホイールに手を添えたり、レバーに大きな力を加えたとき。
- ・ロードチェーンに衝撃がかかるような動かしかたをしたとき。
- ・ブレーキが締まったままで、レバーの巻下げ操作ができないとき。
  この場合は負荷のかかった状態で（本体を固定した状態で）巻下げ操作を行うと、ブレーキがゆるみ、遊転操作ができるようになります。

⚠危険 ●**荷締め後は必ず切換レバーの位置を巻方向にしておいてください。**

※荷締め運搬中、切換レバーの位置が遊転または戻しの方向に入っていますと、運搬中に生じるレバーへの外力によって、荷がゆるんだり、レバーが振り回されたりして危険です。

荷締め後は必ず切換レバーの位置は巻方向へ

6、使用上のご注意・作業前の点検

⚠ **危険** ●作業前の点検を必ず実施してください。
異常個所があったときはそのまま使用せず、直ちに補修してください。
●本体を設置する場所に十分な強度があることを確認してください。
●作業内容を確認し、余裕のある定格荷重、揚程のフジプーラーをご使用ください。
特につり上げ作業の際は、揚程を確認してください。
●作業環境を整え、危険な傷害物は取り除いてください。
また足場のわるい所、高所など危険な所で作業しないでください。

作業前のチェックポイント

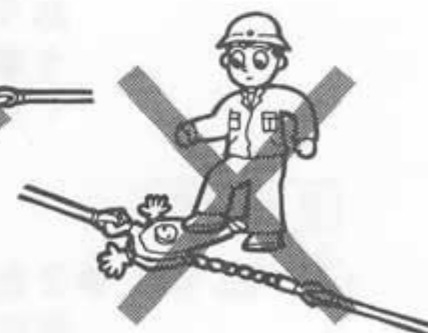
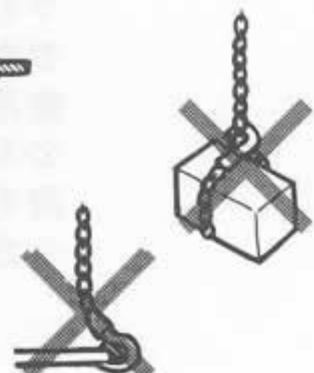
①外観の変形（打痕、傷）、部品の欠落がないか。
操作銘板の内容（定格荷重、警告文）がはっきり読めるか。
②ロードチェーンに傷やねじれはないか。油切れしていないか。
③トップ・ボトムフックおよび外れ止めに変形や傷はないか。フックの首部が軽く回転するか。
④遊転装置が円滑に作動するか。
⑤切換レバーおよびレバーが円滑に作動するか。
⑥ブレーキが正常に働いているか。
本作業の前に、荷をかけ５cm程、巻上げ巻下げを行いブレーキに異常がないか確認します。

7、使用上のご注意・安全操作のための注意

⚠ **危険** ●人をつり上げたり、つり荷に乗ったり、
つり荷の下に立ち入ったりしないでください。
人の乗る用途には絶対使用しないでください。
また、人の頭上で作業しないでください。

●定格を超える荷重は絶対にかけないでください。
※定格荷重を超える作業は、つり荷の落下等
の事故となり危険ですので、絶対にしない
でください。
●人間の手動力以上での操作はしないでください。
定格荷重時の手動力は、右表の通りです。
レバー操作が重い場合は、定格荷重を超えて
いますので、より大きなプーラーを使用して
ください。

定格荷重	手動力
0.8 TON	300 N
1.0	370
1.6	300
3.15	380
6.3	380

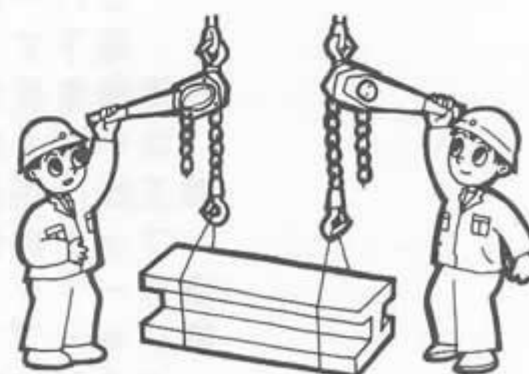
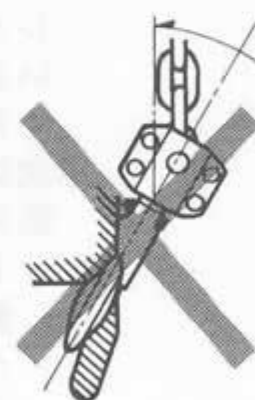
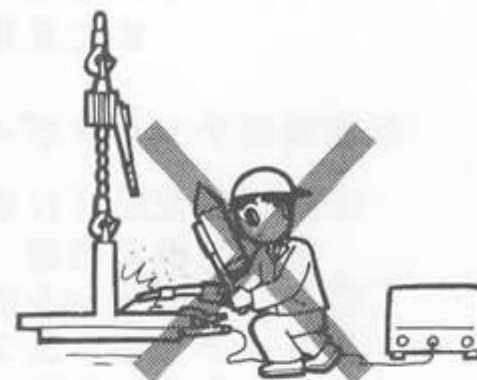
●次は定格を超える荷重を加える危険な操作ですから
絶対にしないでください。
・レバーにパイプ等を差し込んでレバーを延長して
操作する。
・ハンマー等でレバーをたたいて操作する。
・レバーを足で踏みつけて操作する。
・レバーにぶら下がって体重をかけて操作する。
・落下する荷を支える。
●損傷を受けたり、異音がするフジプーラーを使用し
ないでください。
●玉掛け用具はフックの中央に正しくかけて下さい。
フックの先端で荷重を受けないでください。
●ロードチェーンを直接荷に巻き付けないでください。
●シャープエッジ(鋭利な角)にロードチェーンを接触
させないでください。
●フックの外れ止めが破損したままでは絶対に使用し
ないでください。

⚠危険 ●荷をつる前にロードチェーンのねじれは必ず直してください。
特に、6.3TONのダブルタイプはボトムフックがロードチェーンの間をくぐってねじれている事がありますので、必ずねじれを直してください。
●宙づりした荷を電気溶接しないでください。
●ロードチェーンに溶接機のアースを接続しないでください。
●ロードチェーンに溶接用電極を絶対に接触しないでください。
●荷をつったまま長時間放置しないでください。
●操作中は荷から気をそらさないでください。
●つり荷の反転作業はしないでください。
※異常に大きな衝撃が発生するおそれがあります。

⚠注意 ●巻上げは、ロードチェーンが張ったところでいったん停止し、荷の状態を確認してから巻き上げてください。
●斜め引きは地切りの時、荷が揺れますので十分注意してください。
●作業に対し揚程が十分である事を確認してください。
●過巻上げ、過巻下げ操作はしないでください。
●荷がかかっているときは、ロードチェーンに触れないでください。
●つり荷を他の構造物や障害物に引っかけないでください。

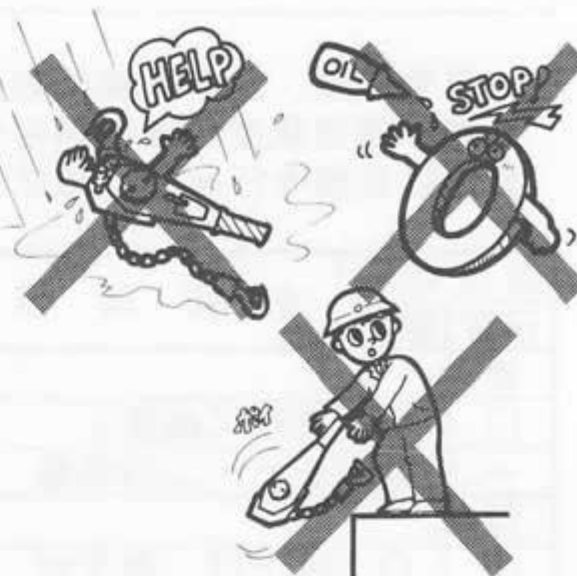
荷締め作業

⚠危険 ●荷締め後は必ず切換レバーの位置を巻方向にしておいてください。
●運搬中のトラックの急発進、急停止、急旋回などにより、思わぬ過大な負荷が発生し、積み荷の落下や荷崩れなどの重大な事故が発生する可能性があります。緊締力に十分余裕のある型式、方法で作業してください。
※また、荷締めにご使用される事業所は、十分な安全が確保されるように使用基準を設定し、安全作業の徹底、指導をしてください。
●運搬途中で、必ず荷の状態を点検し、締め直してください。
●ロードチェーンが荷の角に直接当たらないように、当て木などの緩衝材をかませてください。
●フックに無理な力がかかるような荷台の掛金には、直接フックを掛けないでください。
●運搬中の振動等により積み荷が移動していることがありますので、チェーンを緩めても荷崩れしないよう事前に適切な処置を施してから、戻し操作をしてください。

2台づり

⚠危険 ●2台づり（共づり）は荷のバランスを失いやすく、荷の落下などの危険な作業ですから避けてください。
やむを得ず2台づりする時は、1台のフジプーラーでもその荷をつれる定格荷重の同じものを2セット使用してください。
つり上げは荷の水平を保ち、バランスよく操作して、荷を自分の足に落としたりしないよう十分注意してください。

8、保管

⚠危険●使用後は泥や水気、異物等を拭き取って、ロードチェーン、フックの首部、フックピン、チェーンストップピン等に油を注して、雨や露のかからない湿気のない屋内に保管してください。
●ブレーキ部分への注油は絶対にしないでください。

⚠注意●本体を放り投げたり、引きずったりしないでください。
●ブレーキは締まったままで放置せず必ず緩めておいてください。

9、故障の原因と対策

ご注意●修理は、必ずお買い求めの販売代理店、あるいは弊社にお申しつけください。

現象	原因	処置
ブレーキが働かずスリップする	·ブレーキデスクの摩耗 ·ブレーキ部分に油が付着している ·負荷が小さすぎる ·部品の破損	·ブレーキデスクの交換 ·分解して油を拭きとる ·負荷に適合した製品を使用する ·不良部品の交換
遊転操作ができない	·ハンドホイールに手を添えている ·レバーに大きな力を加えている ·ブレーキが締まったままである ·ロードチェーンのねじれ、キンクによりはさまっている ·部品の破損	·操作方法の変更 ·操作方法の変更 ·本体を固定して巻下げ操作をおこなう ·ねじれ、キンクをなおす ·不良部品の交換
レバーが回らない	·ブレーキの締まり過ぎ ·部品の破損	·本体を固定して巻下げ操作をおこなう ·不良部品の交換
巻上げ巻下げ時の異音	·ロードチェーン、ロードシーブの摩耗か変形 ·ギヤ、軸受の摩耗	·不良部品の交換 ·不良部品の交換
レバー操作が突然重くなった	·過巻上げ、過巻下げである ·ロードチェーンのねじれ、キンクによりはさまっている	·反対方向に操作する ·ねじれ、キンクをなおす

10、保守点検・整備

安心して本製品を使うためには、日常点検、定期点検は欠かせません。以下の説明を熟読し、正しく点検整備を行ってください。

⚠危険●外観の変形（打痕、傷）、部品欠落、レバー操作やブレーキの異常など、故障しているときは使用を中止し、修理してください。
●分解・組立した後、必ず作動が正常であるか確認してください。
●ロードチェーン、フックやブレーキデスクは消耗品ですので、作業前には必ず検査し異常があれば交換して下さい。
●ロードチェーンの切断、継ぎ足しは絶対しないでください。
●富士製作所純正部品以外は絶対使用しないでください。
●保守点検・整備は、事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。
●保守点検・整備は、必ず空荷（つり荷がない）状態で行ってください。
●故障したものは 点検中 などの名札を付け、誤って使用されないように区別してください。

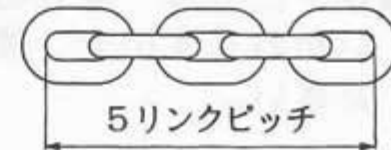
ご注意●本製品は万一の故障の時、簡単に修理できるよう考慮して設計されています。しかし組立不良による事故の責任は負いかねますので、修理や分解・組立を伴う検査、整備は必ずお買い求めの販売代理店、あるいは㈱富士製作所にお申しつけください。

10-1 点検チェックリスト

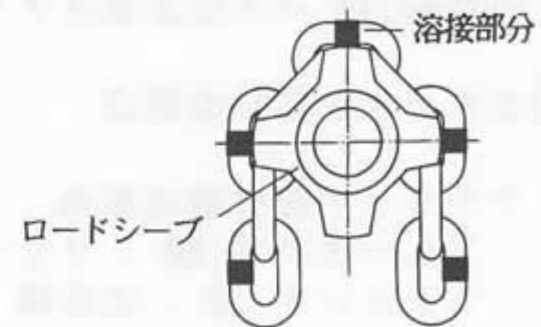
日常点検、定期点検における点検項目、点検方法および点検基準は次表に従ってください。ただし使用頻度が多い場合や環境の悪い場所でのご使用は、各部の損傷が激しくなりますので、頻繁に点検を行って、常に正常な状態を維持してください。

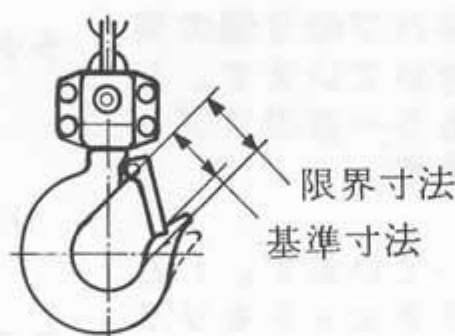
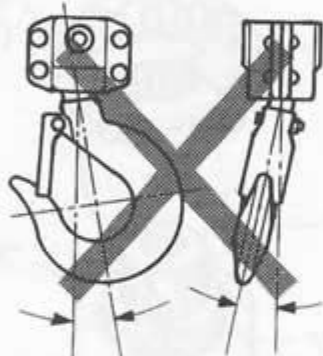
点検時期 日常	点検時期 定期	点検項目	点検方法	点検基準	判定
表示					
○	○	表示（銘板）	目視	表示（銘板）の有無	
−	○	チェーンの等級	目視	ロードチェーンの等級の確認	
作動					
○	○	巻上げ・巻下げ	操作	ブレーキ装置の爪の作動音がする	
				作動が円滑である	
				ブレーキが確実に作動する	
				ロードチェーンのかみ合いが良好	
				手動力が著しく変化しない	
○	○	巻・戻切換レバー	操作	円滑に切り換えできる	
○	○	遊転装置	操作	円滑に遊転できる	
ブレーキ機能					
−	○	ブレーキ機能	操作	定格荷重が保持できる	
ロードチェーン					
○	○	ピッチの伸び	測定	伸びが 2.5%以上のものは使用しないこと	
○	○	摩耗	日常は目視 定期は測定	線径の摩耗が10%以上のものは使用しないこと	
○	○	変形	目視	変形がないこと	
○	○	傷、有害な欠陥	目視	亀裂、その他の欠陥がないこと	
○	○	腐食	目視	著しいさびが発生していないこと	
フック（トップフック、ボトムフック）					
○	○	フックの開き	測定	限界寸法を越える変形がないこと	
○	○	変形	目視	曲がり、ねじれがないこと	
○	○	首部の変形	日常は目視 定期は測定	フック金具とフックの首部に著しいすきまがないこと	
○	○	摩耗、腐食	目視	著しい摩耗、腐食がないこと	
○	○	傷、有害な欠陥	目視	亀裂、その他の欠陥がないこと	
○	○	外れ止め	目視、作動	部品の欠落や変形がなく、正しく機能すること	
ブレーキ					
−	○	ブレーキデスク	測定	著しい摩耗や損傷がないこと　限界厚さ 2.7 mm	
−	○	ラチェットデスク	目視	著しい摩耗がないこと	
−	○	ブレーキパウル	目視	著しい摩耗がないこと	
○	○	ブレーキカバー	目視	変形、著しい腐食がないこと	
本体					
○	○	ケーシング	目視	変形、著しい腐食がないこと	
○	○	ギヤカバー	目視	変形、著しい腐食がないこと	
−	○	ギヤ	目視	著しい摩耗、損傷がないこと	
−	○	軸受	目視	摩耗、亀裂、損傷がないこと	
−	○	ロードシーブ	目視	著しい摩耗、変形がないこと 亀裂、損傷がないこと	
○	○	レバー	目視	著しい摩耗、変形がないこと きず、損傷がないこと	
○	○	グリップ	目視、触診	抜けないこと　損傷がないこと	
○	○	チェーンストップ	目視	変形がないこと	
○	○	ボルト、ナット、ピン	目視	欠落や、異常がないこと ゆるみがないこと	

10-2 ロードチェーンの点検と交換

※次の項目に該当するロードチェーンは強度が低下しており、破断の可能性があるので使用できません。直ちに当社の指定した新品チェーンと交換して下さい。
- ・傷や変形がある。　・錆びている。
- ・溶接スパッタの付着や、高熱にさらされた経歴のあるチェーン。
- ・伸び摩耗が右表の使用限界を超えている。

定格荷重(TON)	線径φ(mm) JIS V級	5リンク寸法(mm) 基準寸法	限界寸法
0.8　1.0	5.6	85	87.5
1.6	7.1	105	107.5
3.15　6.3	9.0	135	138.3

※ロードチェーンの交換方法

①チェーンストップピン(No.㊾-b, 6.3TONはNo.㊼)を抜いて、ボトムフック等をはずします。
②切り換えレバーを遊転に合わせ、リンクチェーンストップをゆっくり引っ張ってロードチェーンを抜きます。
③新品のロードチェーンをロードシーブのくぼみに合わせ、回しながらロードチェーンを取り付けます。
この時、ロードチェーンの溶接がロードシーブに当たらないように外側にして挿入します。

10-3 フックの点検(トップフック、ボトムフック共通)

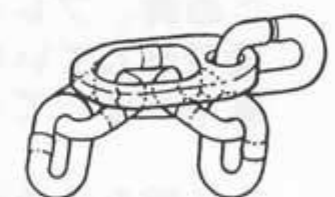
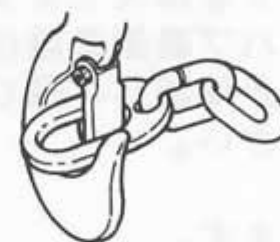
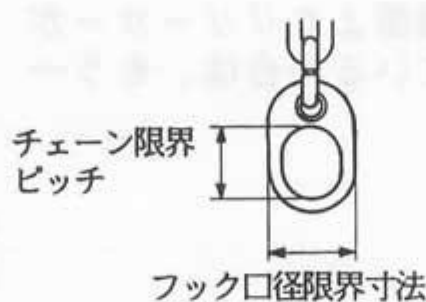
※次の項目に該当するフックは、強度が低下しており使用できません。直ちに交換して下さい。
- ・目視でわかる曲がりや変形がある。　・深さが1㎜を超える傷がある。
- ・フックの口が開いていて使用限界を超えている。

定格荷重(TON)	基準寸法(mm)	限界寸法(mm)
0.8	28	34
1.0	28	34
1.6	35	41
3.15	43	51
6.3	50	58

※外れ止めが壊れて機能していないものは、交換修理してください。

10-4 リンクチェーンストップによるチェーンとフックの点検

※リンクチェーンストップはチェーンとフックの限界ゲージとして使えます。
簡単に検査できますので、作業前には必ず検査してください。

口径を通ると使用限界です。

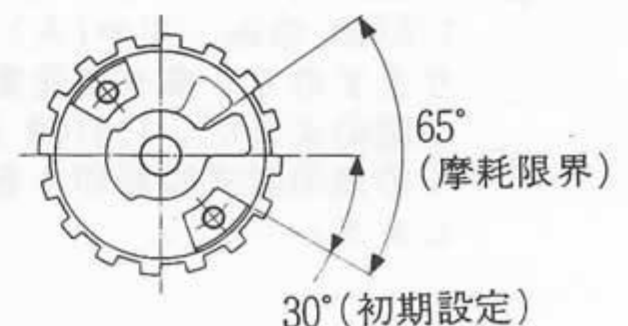
チェーンリンクが入らなくなったら限界です。

10-5 ブレーキの点検

ブレーキデスクの摩耗の著しいものや傷のあるものは、交換してください。

ブレーキデスクの厚み

初期の厚さ	限界の厚さ
3.2 mm	2.7 mm

※ブレーキデスクが摩耗するとラチェットの遊び角度が次第に大きくなります。摩耗限界での遊び角度は約65度で、それ以上大きくなったときは交換して下さい。

⚠危険●ブレーキ部分への注油は絶対にしないでください。ブレーキ部分に油や水が入ると、滑りの原因となり危険です。絶対に注油したり、水が入ったりするような環境下で使用しないでください。

10-6 分解・組立の注意

ご注意●以下に分解・組立の注意事項の説明をいたしますが、組立不良による事故の責任は負いかねますので、修理は必ずお買い求めの販売代理店、あるいは弊社にお申しつけください。

※部品名、部品番号、組番は、次項の部品リストを参照してください。
組番は昇順で組立順序、降順で分解順序を示します。

①レバー、ブレーキ部分の分解
部品No.㊷ GTキャップ 組番37 から降順に分解してください。

②ギヤ部分の分解
部品No.⑯ バネ座金組込ナット 組番11 から降順に分解してください。

③ラチェット部分の組立

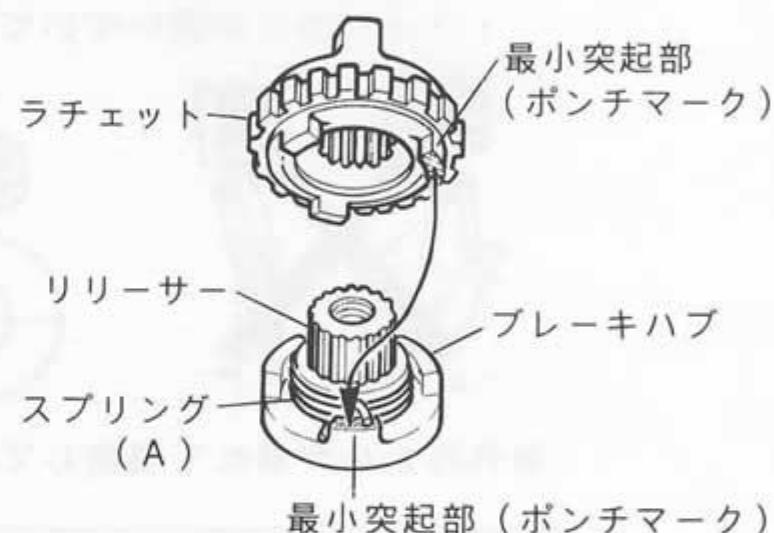
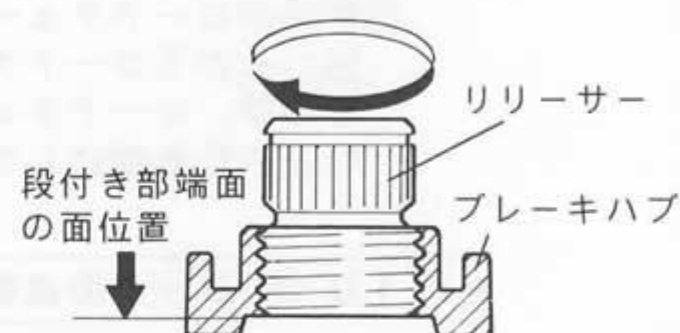
ラチェット部分構成部品
ブレーキハブ ㉖、リリーサー ㉗、スプリング(A)㉘、
ラチェット ㉙、止め輪 ㉚

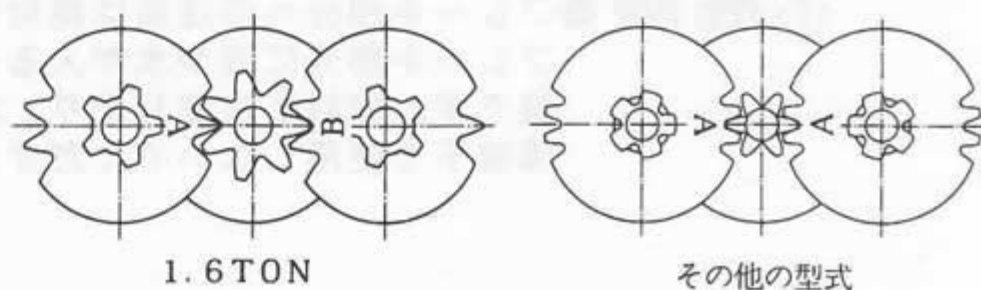
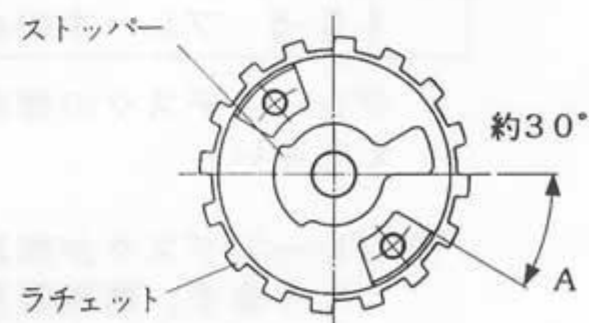
・ブレーキハブにリリーサーをねじ込みます。
リリーサーをブレーキハブ裏側の段付き部端面の面位置までねじ込みます。
この時ブレーキハブ裏側の段付き部端面よりリリーサーが飛び出さないようにしてください。

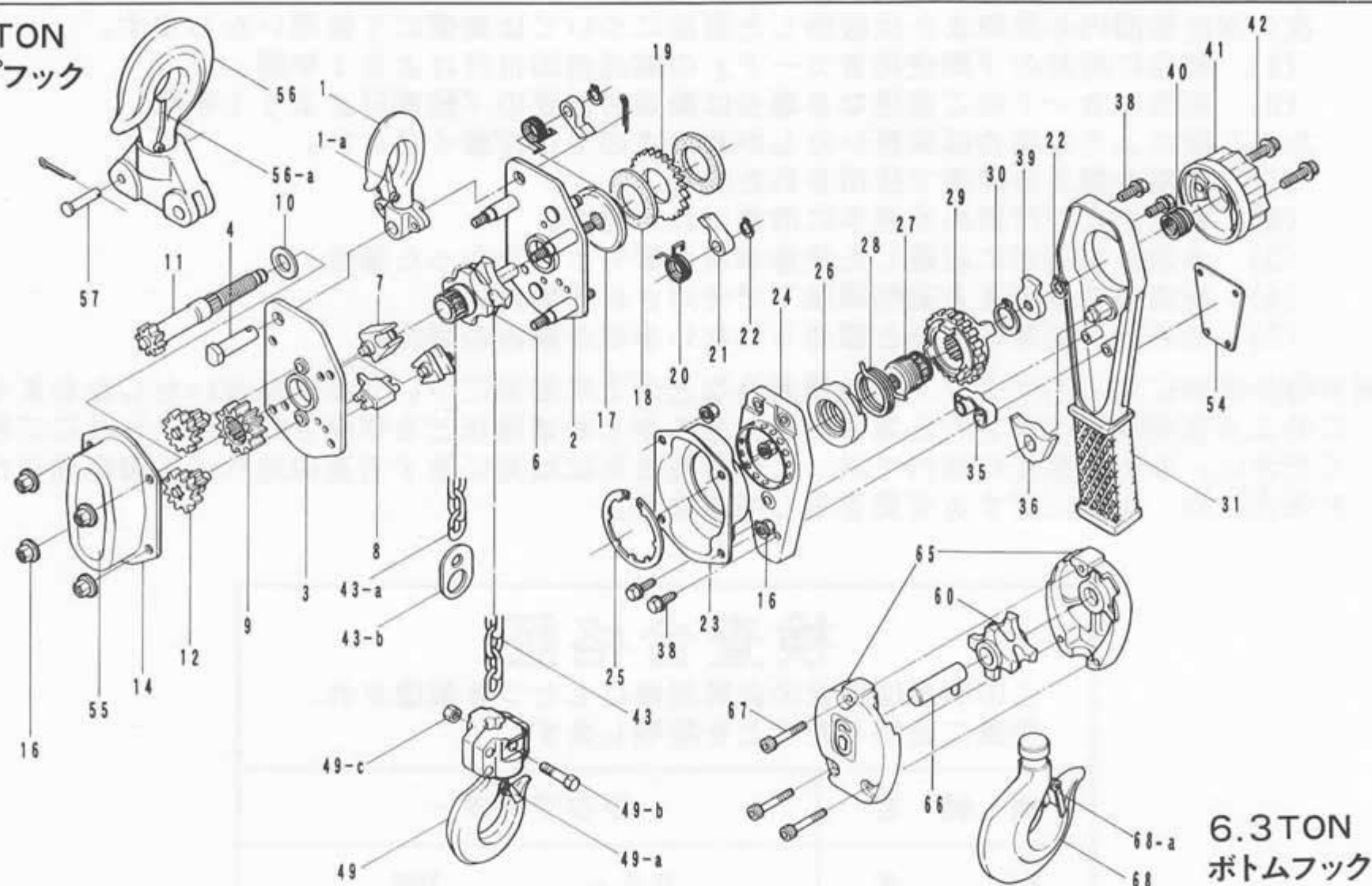
・スプリング(A)は、スプリング端がブレーキハブの3個の突起の中で一番小さい突起（ポンチマークが付いています。）に引っかけるように取り付けます。この時もう一方のスプリング端は最小突起の上に乗った状態になります。

・ラチェットの最小突起（ポンチマークが付いています。）とブレーキハブの最小突起を合わせながら、ラチェットをリリーサーに挿入します。

・ラチェットの突起端面でスプリング端を広げるように、ラチェットを左に回しながら、突起同士がかみ合うところまで、更に深くラチェットを挿入します。
この時、ブレーキハブ裏側の段付き部端面よりリリーサーが飛び出していないか確認し、飛び出している場合は、もう一度やり直してください。

・止め輪をはめ込みます。

④ストッパーの取付
・ラチェット部分を、ピニオン(A)にねじ込み、手でいっぱい締め込みます。
・ストッパー ㊴ は、ラチェットの突起に対して、約30°になるようにはめ込みます。
・止め輪 ㉒ で抜け止めします。

⑤ギヤ(A),(B)Ass'y の組立
1.6TON のみ、ギヤ(A),(B)の区別がありますので、向きに注意してください。
図のように、1.6TON は刻印A、Bを、その他の型式は刻印Aを向かい合わせにします。

※ご注意　この部品リストは製造番号Ｎｏ．１００００以上の製品に適用したものです。

１１、部品リスト

8S-0.8 1.0 1.6 3.15 6.3 TON 共通

No	部品名	個数	組番
1	トップフック Ass'y	1s	39
-a	外れ止め Ass'y	1s	
2	ケーシング(A)Ass'y	1s	1
3	ケーシング(B)Ass'y	1s	5
4	ﾄｯﾌﾟﾌｯｸﾋﾟﾝ（割ﾋﾟﾝ付）	1	40
6	ロードシーブ	1	2
7	チェーンガイド	2	3
8	ストリッパー	1	4
9	ロードギヤ	1	6
10	ワッシャー	1	7
11	ピニオン(A)	1	8
12	ギヤ(A)･(B) Ass'y	2s	9
1.6TONのみギヤAss'y(A)(B)の区別あり 他機種はギヤ(A)Ass'yのみ２組を使用			
14	ギヤカバー Ass'y	1s	10
16	バネ座金組込ナット	8	11,23
17	デスクハブ	1	16
18	ブレーキデスク	2	17,19
19	ラチェットデスク	1	18
20	スプリング(B)	2	13

No	部品名	個数	組番
21	ブレーキパウル	2	14
22	軸用止メ輪	3	15,30
23	ブレーキカバー	1	21
24	レバーカバー Ass'y	1s	20
25	スライドリング	1	22
26	ブレーキハブ	1	24
27	リリーサー	1	25
28	スプリング（A）	1	26
29	ラチェット	1	27
30	軸用止メ輪	1	28
31	レバー Ass'y	1s	31
35	板バネ	1	32
36	レバーパウル	1	33
38	ﾊﾞﾈ座金組込六角ボルト	4	34
39	ストッパー	1	29
40	早戻しスプリング	1	35
41	ハンドホイル	1	36
42	ＧＴキャップ	2	37
43	リンクチェーン Ass'y	1s	41
-a	リンクストップ	1	
-b	ﾘﾝｸﾁｪｰﾝｽﾄｯﾌﾟ	1	

No	部品名	個数	組番
49	ボトムフック Ass'y	1s	42
-a	外れ止め Ass'y	1s	
-b	チェーンストップピン	1	
-c	Ｕナット	1	
54	操作銘板（ﾘﾍﾞｯﾄ付）	1	38
55	銘板（ﾘﾍﾞｯﾄ付）	1	12

お断り

トップおよびボトムフックは単体での販売は行っていません。
トップフックは外れ止めAss'yを含み
ボトムフックは外れ止めAss'y、ﾁｪｰﾝｽﾄｯﾌﾟﾋﾟﾝ、Uﾅｯﾄが含まれています。

定尺リンクチェーンも単体での販売は行っていません。
リンクストップ、リンクチェーンストップが含まれています。

8S-6.3 TON トップフック　　ボトムフック

No	部品名	個数	組番
56	トップフック Ass'y	1s	43
-a	外れ止め Ass'y	1s	
57	ﾁｪｰﾝｽﾄｯﾌﾟﾋﾟﾝ（割ﾋﾟﾝ付）	1	44
60	ボトムシーブ	1	46
65	ボトムフレーム Ass'y	1s	48

No	部品名	個数	組番
66	ボトムシャフト(ﾋﾟﾝ付)	1	47
67	六角穴付ボルト	3	49
68	ボトムフック Ass'y	1s	45
-a	外れ止め Ass'y	1s	

お願い

部品ご注文の際には型式、製造番号、部品名および部品番号をご確認の上、弊社へお申しつけください。

※組番は昇順で組立順序、降順で分解順序を示します。

１２、品質保証について

当社では製品の品質を１年間保証いたします。
次の保証期間内の故障または破損した製品については無償にて修理いたします。
(1) 製品に同封の『御使用者カード』の郵送消印日付けより１年間
(2) 前項のカードのご返送なき場合は検査合格証の『検査日』より１年間
ただし次のような場合は保証いたしかねますのでご注意ください。
(1) 定格を超える荷重で使用された場合。
(2) 製品および付属品を勝手に改造された場合。
(3) 本取扱説明書に記載した注意事項を順守されなかった場合。
(4) 使用条件を超える過酷環境下で使用された場合。
(5) その他、当社の責任と認められない事項が原因の場合。

※本機の故障による生産ダウン、納期遅れなどの２次損害については、保証いたしかねます。このような事態が予想される場合には、あらかじめ補機などを準備されるか、当社にご相談ください。なお、保証期間内であっても離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

検査合格証

この製品は弊社の品質規格にもとづき製造され、
検査に合格したことを証明します。

機械名	フジプーラー
型式	８Ｓ－　　　TON
製造番号	
検査年月日	
検査	

販売元　株式会社 富士製作所
本　社　〒104-0033　東京都中央区新川2-13-11
TEL 03-3555-3031
コールセンター　TEL 0761-55-0253　FAX 0761-55-3519
0120-57-0253

製造元　富士MFG株式会社
〒929-0101　石川県能美市赤井町は-195番地
TEL 0761-58-0383　FAX 0761-58-1881

定価315円（本体300円）
'04.12 (152)